

Press Release

スパイアR&C広報事務局
TEL: 03-6427-1627
担当：アレックス・村上



The Knowledge to Decide

調査情報提供

新興国に特化したマーケティングリサーチ企業「スパイア・リサーチ・アンド・コンサルティング」

中国・インド・ASEANにおける 経済動向と成長ビジネスの予測分析レポート

ASEAN、アフリカ、中東、中南米など新興国市場リサーチに特化したSpire Research & Consulting (本社：シンガポール CEO：レオン・ペレラ)は、企業の視点から見た「アジアにおける日本の成長ビジネス 2015年の展望」について分析レポートを発表致します。

※スパイア・リサーチ・アンド・コンサルティングとは？

スパイア・リサーチ・アンド・コンサルティングは、戦略的マーケティングリサーチとコンサルティングを行うリーディングカンパニーです。新興市場(アジア環太平洋、中南米、中東、アフリカ、ロシア、CIS諸国など)に特化し、世界のトップ企業・政府機関向けに、高品質かつ戦略的なりサーチをカスタマイズして提供します。

※代表プロフィールは最終ページをご確認ください。

成長を続けるアメリカ、高齢化する欧州、日本

2015年以降、アジア諸国と日本の動向、そして注目すべき産業分野を分析しました。アメリカでは雇用の伸びと安価な石油により経済が安定して伸びていくと予測されます。消費はアメリカGDPの70%。欧州では失業率が高く引き続き不安定であり、その原因は失業率だけでなく、日本と同様の「高齢化」も問題として挙げられます。

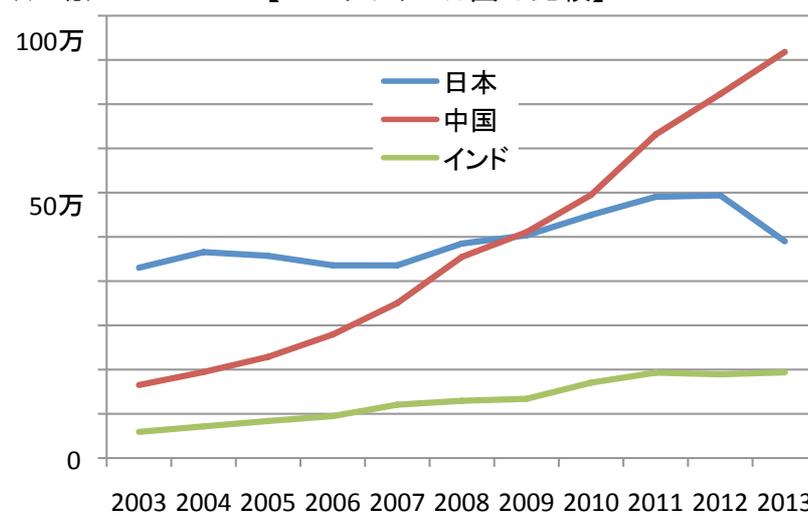
中国の成長は約7%と鈍化。継続的な金融引き締めにより消費を抑制。急速な高齢化により、日本企業の医療機器や医療ロボットの需要が高まります。

インドは2015年6~7%の経済成長が見込まれます。ICTサービス、医療目的、製造業の輸出はかなり成長が予測。日本企業の医療と教育システムに需要があると考えられます。

ASEANは製造での関税引き下げがすでに施行されました。AECも今年発足される予定です。労働力の供給、産業奨励策、研究開発を日本が再構築していく機会となります。

単位
(\$10億)

【GDPアジア3カ国の比較】



出典：国連

報道関係者からのお問い合わせ
TEL:03-6427-1627

スパイアリサーチ&コンサルティング広報事務局
担当：アレックス・村上 E-mail:info@kartz.co.jp

Press Release

スパイアR&C広報事務局
TEL: 03-6427-1627
担当：アレックス・村上



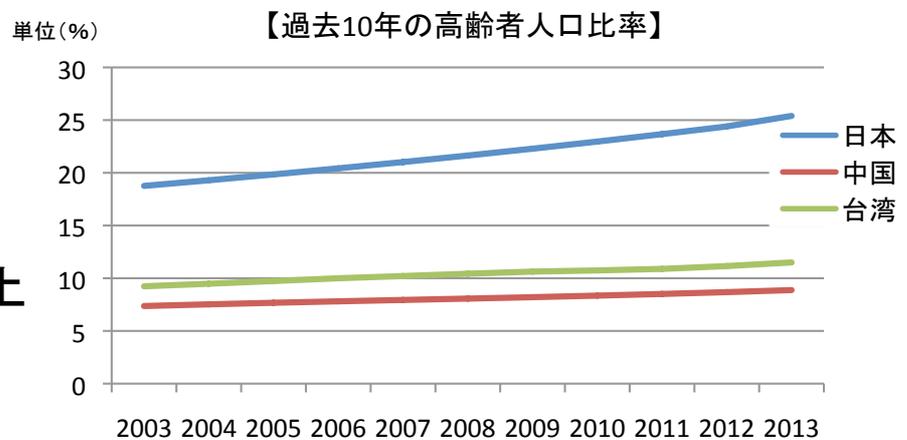
The Knowledge to Decide

調査情報提供

ビッグチャンス到来、『シニアビジネス』

日本の高齢化は以前から課題として注目されているが、裏を返せば「シニアビジネス」は最大のビジネスチャンスにもなりえます。日本のシニア率は増加を続け、2042年がピーク、2.5人に1人が65歳以上になると予測されています。これは世界でも突出した超高齢社会となることを意味します。そして、この問題は、日本に限ったことではなく、中国、台湾、シンガポールなど、不均衡な人口ピラミッドとなるアジア社会において、共通の経済的課題です。

アジアでは、高齢化社会に対応できるノウハウを持った企業が多くありません。日本が先駆けであり、ショーケースとしてアジア諸国からも注目を集めています。



出典：World Bank

日本の高齢人口は
2042年がピーク！
2.5人に1人が65歳以上

ターゲットは『アクティブシニアビジネス』

注目されているのは「アクティブシニアビジネス」。介護を必要としない元気なシニアは、より若々しく健康であることを目指し、アンチエイジングやヘルスケアに力を入れる傾向に。

つまり、スキンケア、温泉、スポーツジム、スイミングクラブ、ヘアトリートメントなどに関する消費が高くなることが予想されます。日本のスキンケアおよび個人医療メーカーは、自社製品をアピールする大きなチャンスとなるでしょう。

『働く高齢者』が経済成長の鍵

現在、生産人口の減少が深刻な問題となっています。その原因は、若年層の高失業率と高齢者数の拡大。生産人口をどう確保していくかが、経済成長の鍵となります。定年を65歳まで引き下げても、経験や能力を活かす持て余しているのが現状です。高齢者が生産的に働ける社会を作ること、そのビジネスモデルを作ることが大切です。

全人口の25.1%が65歳以上となった日本では、高齢者をどうマンパワーとして活かしていくかが課題となります。そして、課題解決ができるかどうかで、日本がシニアビジネスの世界的リーダーになれるかどうかが決まります。

報道関係者からのお問い合わせ
TEL:03-6427-1627

スパイアリサーチ&コンサルティング広報事務局
担当：アレックス・村上 E-mail:info@kartz.co.jp

Press Release

スパイアR&C広報事務局
TEL: 03-6427-1627
担当：アレックス・村上



The Knowledge to Decide

調査情報提供

2015年成長が見込まれる業界 注目は「3Dプリンター」と「教育」

スマホ普及にともなうEC分野

TaoBao、amazonなどのEコマース事業は、アジア諸国で高い成長をしていくことが予想されます。楽天、ソフトバンクなどの日本企業も、Eコマース事業の成長を利用し、さらに伸びることができます。インターネット上では、銀行サービス、医薬コンサル、ニュースメディア、コンテンツストリーミング、教育といったサービスが急成長する可能性があります。

「3Dプリンター」「ロボット」がイノベーションを起こす IT・テクノロジー

3Dプリンターは始めに予想されていたよりも、急速に普及が進んでいます。結果、中国の低コスト生産を減速させるなど、確実にイノベーションを起こす商品です。他に、ウェアラブル市場、家庭用ロボットや介護ロボットの開発も成長確実とされています。モバイルも引き続きアジアを中心に伸び続けるでしょう。家電で革命を起こすのは「家庭用テレビ」。10年前にフラットスクリーンが市場に出て、家庭内のテレビが一新されました。次世代テレビとして、3Dテレビやインターネットテレビの需要が考えられます。もしかしたら、曲がったテレビなども開発されるかもしれません。ビジネスチャンスを見逃さないよう注目が必要です。

東南アジアが進出の狙い目 自動車産業

車がまだまだあまり浸透していない、インドネシア、インドなど東南アジアで成長が見込まれます。香港、シンガポールなどの先進国では、ハイブリット車、電気自動車、再生可能燃料車が注目されています。

アジア政府が拡充させたい 保険事業

アジアの中でも中国は、政府が保険の普及や規模拡大を促す内容を発表しているため、日本企業の参入も考えられる分野となります。

「公文」「ヤマハ音楽教室」 特化した教育事業がチャンス

公文、ヤマハ音楽教室など、教育事業に特化している企業は大きなビジネスチャンス。アジアでは、国の教育制度が弱く、中流層以上の家庭が個人で教育に力を入れていくため、日本企業にも参入のチャンスが考えられます。

「中流階級」「高犯罪率都市」で広がる ホームセキュリティ

多くのアジアの都市は、中流階級層が増加する一方、高犯罪都市であるという二面性を持っています。そのため、SECOMのようなホームセキュリティソリューションは需要があります。

報道関係者からのお問い合わせ
TEL:03-6427-1627

スパイアリサーチ&コンサルティング広報事務局
担当：アレックス・村上 E-mail:info@kartz.co.jp

Press Release

スパイアR&C広報事務局
TEL: 03-6427-1627
担当：アレックス・村上



The Knowledge to Decide

調査情報提供

【CEO レオン・ペレラ】プロフィール



スパイア・グループの代表（CEO）として、新興市場リサーチとコンサルティングをはじめ、ビジネスプランニングのための経済分析、マクロ環境分析に豊富な実績を持つ。

【経歴】

オックスフォード大学で哲学と政治経済のダブル最高優等学位を取得。最終学年には同大学より政治学分野でギブス賞を受賞。

シンガポール経済開発庁（EDB）国際ビジネス開発局の上級職員としてキャリアをスタートし、アジア太平洋地域における海外投資をシンガポールに誘致するための政策プランニングを担当。その後、エンタープライズ開発局の局長補として、大手企業の成長を支援する政策に携わった。

アジア・マーケット・インテリジェンス・ビジネスコンサルティング社に転職後、同社のシンガポールオフィスを立ち上げ、企画と顧客対応の両面で中心的な役割を果たす。

その後、スパイア・リサーチ・アンド・コンサルティング・グループをエリザベス・コーと共同で創設、代表に就任。アジア太平洋地域で50を超えるフォーチュン500クラスのグローバル大手企業を顧客として獲得し、その多くから複数回にわたってプロジェクトを受注する原動力となった。顧客に合わせてカスタマイズされたリサーチやコンサルティングのプロジェクトは、これまでに1,000件以上を数える。

【会社概要】

社名：Spire Research & Consulting
（スパイア・リサーチ・アンド・コンサルティング）

本社：シンガポール
代表（CEO）：レオン・ペレラ

事業内容：新興市場のマーケティングリサーチ・カスタマイズリサーチ・市場コンサルティング、経営コンサルティング

支社：シンガポール、インド、インドネシア、中国（北京、上海、香港）、ベトナム、マレーシア、韓国
営業拠点：オーストラリア、日本、米国

報道関係者からのお問い合わせ
TEL:03-6427-1627

スパイアリサーチ&コンサルティング広報事務局
担当：アレックス・村上 E-mail:info@kartz.co.jp